

# 拓く 通信



## 風をおこそう——みんなが担い手 ～人口減少社会に、みんなで向き合いたい～

### ❖ 理事長メッセージ❶ 社会福祉法人拓く 理事長 馬場 篤子

この写真は、久留米市安武町にある「JAくめ安武農産物直売所そらまめ」でのひとこまです。2017年12月より野菜等の販売や地域食堂を展開し、お昼時には高齢者や子育て中の女性、会社勤めの方、障がいのある方も来店されます。運営は安武町の有志による一般社団法人「ほんによかね会」。近所で暮らしていても働いていても互いを知らない方々が、地元の食材を使った料理に惹かれてここで出会うことに。若い母親は、「以前は近所のおばちゃん少し怖かったけれど、話をしてみると子育てのことを教えてくれる」と嬉しそう。互いの顔と名前を覚え、ほほえましい関係が生まれています。

あなたは今、お隣さんやご近所さんと、または子育て中ならば「ママ同士」で話していますか？親の介護は専門家に任せればよい、子育ての不安は専門家に相談すればよいと考えていませんか？人口減少社会では、高齢者がぐんと増え、働き盛りの人はぐんと減り、公的サービス、専門家の支援だけに頼るという考えは通用しません。「自分は貯蓄があるので大丈夫」

と考えがちですが、人手のない中、お金だけで解決するとも思えません。また、子どもや孫の時代のことまで考えていますか？そこで、私達は「今、人口減少社会に、みんなで向き合いたい」と考え、2017年10月から今年3月まで国のモデル事業に取り組み、市民の皆さんと共に6つのプロジェクトを進めました。テーマは「専門職主体の一方支援から民間活力による支え合いの実践」。人口減少社会だからこそ、高齢者、障がい者は勿論、赤ちゃんから看取られる人まで、一人ひとりが誰かの担い手になっていると捉え直し、支え合う地域の文化を創るという、新たな風をおこしました。

2018年度も国のモデル事業を受託。多くの方々が担い手となって社会的事業に関わっていくにはどのような地域の基盤を創る必要があるのかを実践研究し、「インクルーシブなコミュニティを生み出すためのプラットフォーム創り」をテーマに、新しい地域の文化として多くの方々と共に育てあげ、ここ久留米から全国へ広げていきたいと思ひます。

❖ CONTENTS

● 特集 2017年度厚労省モデル事業にチャレンジ	● 提言 重い知的障がいがあっても、一人暮らしをしています。…… 5
コミュニティづくりに取り組みました …… 2・3	● 2017年度事業のご報告 …… 6・7
安武農産物直売所「そらまめ」開店中！ …… 4	● 11月4日開催！ 第17回ボレボレ祭り …… 8

# 2017年度 厚生労働省のモデル事業にチャレンジ!

人口減少・少子高齢化社会の課題と向き合い、  
コミュニティづくりに取り組みました。

当法人は、国のモデル事業を受託し、  
2017年10月から2018年3月まで実施しました。

活動期間は、実質3ヶ月。

住民やNPO法人、大学、幼稚園、地場企業、  
行政等の方々が集まり、6プロジェクトを実践。

人口減少・少子高齢化社会を生き抜く、  
次の一歩が見えてきました。



安武ほんによかね  
3ヶ月ママチャレンジ

## 地縁型コミュニティ × テーマ型コミュニティ × 若者

今回の事業で重視したことは、混ざり合い、そして、同じ目的をもってアクションを起こすことで素敵な関係性や循環を創りたいということ。そこで、地域の自治会や民生委員などの「地縁型コミュニティ」、障がい児者の保護者が集まった親の会や住民で女性の活動を支援するNPO法人の「テーマ型コミュニティ」、そして子育て中の「若い世代」に声を掛けました。これまで近所で暮らしながらなかなか混ざり合うことのなかった皆さんを掛け合わせたことで、今、新しい風が吹き始めています。

実は、若者はコミュニティと聞くと煩わしく思うだろうと予想していましたが、意外にも積極的にコミュニティづくりに参画。普段、人とのつながりが弱くて孤立し、か

つ、将来への不安が渦巻いているからでしょう。子育て中の親同士、初対面の人にも次々と声を掛けて、賑わいさえ見せています。

約3ヶ月間の取り組みを終えて見えてきたもの、それは誰もが「担い手」になれるということでした。例えば、これまで支えられる立場とされている重度障がい児者や生まれたばかりの赤ちゃん、看取りの時を迎える高齢者の存在そのものが地域の皆さんを結びつける担い手そのものなのです。

今後も行政頼りではなく、さまざまなコミュニティの皆さんと共に「自分たちでやろう」とアクションを起こし、つながりと信頼関係を積み上げていきたいと思います。

### 6プロジェクトの 紹介

- ①実施目的
- ②実施団体
- ③実施内容

#### 安武ほんによかね 【安武小校区】

- ①住民の参画を促しての拠点づくり 若い世代の参画(地域デビュー)を促す
- ②一般社団法人「ほんによかね会」  
(安武校区まちづくり関係者・地域食堂運営会・社会福祉法人拓く・メリコア・子育て中の親たち)
- ③住民の支え合いの組織である「(一社)ほんによかね会」の設立  
活動拠点施設「JAくるめ安武農産物直売所そらまめ」の整備、直売所・地域食堂の運営。  
地域交通(乗合いタクシー方式)「安武あいあい交通」の普及  
若い世代の地域デビューを促す「3ヶ月ママチャレンジ」の実施

#### 輪をつくろう 【江南中校区】

- ①地域で暮らす障がい児者の保護者同士、教員、地域の企業や店との交流の場づくり
- ②小中学校・久留米市手をつなぐ育成会・聖マリア学院大学・障がいのある小中学生の保護者
- ③江南中校区の小中学校に呼びかけ親の会を結成。食事会、スマホ教室、スポーツ大会等を実施。  
障がい児者にも優しい「地域いいね」マップづくり・配布



## プロジェクト参加者の声

### 「子ども農トレ」参加

古賀 裕也さん

森づくりをする中で隣近所や友人も増えて地域活動の参加につながり、お金や短期的な数値では測れない価値が生まれました。「自分たちのことは自分たちで担う!」という市民の決意の集まりで地域を守っていくしか、もう道は残されていません。

### 「安武ほんによかね」3ヶ月ママチャレンジ参加

川副 清美さん

回を重ねる毎に子育ての悩みも口に出せて、皆さんに会えるのが楽しみに。人任せだった今までの自分を変えていきたい。

### 「輪をつくらう」参加

中村 美香さん

今回のつながりをきっかけに津福小学校の特別支援学級の親の会「津麦の会」を立ち上げることができました。親として相談できる場所ができたことが嬉しい。卒業しても未永くつながっていきたい。

## 2018年度も、厚生労働省のモデル事業に取り組みます!

久留米10万人女子会「WeLAB46」事業、  
「世代力発電のまち みやの人」事業…。  
聞いただけでワクワクしませんか?  
異文化や異世代を混ぜ合わせた  
8つのプロジェクトによって、  
社会的事業・活動を新たに創り出し、  
普及させるためのプラットフォームのあり方を  
研究・実践・検証していきます。

### 子ども農トレ【山本小校区】

- 1 自然の中で親子が遊びを学ぶ機会づくり
- 2 久留米天使子ども園・オヤジの会・山本小校区住民
- 3 オヤジの会と地域住民、子どもが参加し、遊び場となる耕作放棄地を整備。

### みんなが担い手【諏訪中校区】

- 1 地域の若手の人材発掘
- 2 諏訪中校区住民(大人・子ども)・visonAreal
- 3 校区内の子どもが校区出身の大人に「担い手」についてインタビュー  
ホームページ(みんなが「271te」プロジェクト)制作・掲載

### 地域の担い手づくり【全校区】

- 1 コミュニティづくりに必要な技法を学ぶ研修の実施
- 2 コミュニティ・オーガナイズ久留米・久留米市障害者基幹相談支援センター・住民
- 3 コミュニティ・オーガナイザー養成研修の開催

### もうひとつの家【安武・御井小校区】

- 1 福祉の専門家ではないボランティアと重度障がい者との生活共存
- 2 ポレポレ倶楽部(当法人の後援会)・障がい当事者・ボランティア(大人・子ども)
- 3 地域ボランティアによる障がい者の土日里親制度の実施

詳しくは [社会福祉法人拓く 2017年度厚生労働省モデル事業](#) [検索](#)

野間口保之さん

三原圭子さん

## JAくるめ安武農産物直売所「そらまめ」をリニューアル。 コミュニティづくりの拠点として活用中です。

安武住民によるまちづくり団体「一般社団法人ほんによかね会」（2017年12月設立）は、JAくるめ安武農産物直売所「そらまめ」を拠点に、地域食堂や直売所の運営、地域交通など住みよい安武の実現に向けて取組みを始めています。当法人もほんによかね会の社員の一員となり、障がいの有無や世代に関係なく混ざり合えるまちづくりを目指して、一緒に取組んでいます。

そらまめ直売所・地域食堂  
開店中!

### 住民が楽しく、元気になるような「そらまめ直売所」に。

（一社）ほんによかね会 直売所部会 野間口 保之

そらまめ直売所での農産物販売は毎週土曜日に行っています。地元の大きな農家の生産物は全体の2割程度で、主に家庭菜園で愛情込めて作った野菜が並び、時々、1個や少量の野菜を出品される人もおられて個性豊か。出品を楽しみにされているのでしょう。値段つけは高くないようお願いして生産者に任せおり、市価の半額以下とあってよく売れています。

運営は、みんなで朝早くから張り切っています。レジは



子育て中のお母さん方が交代で担当。店の設営や納品チェック、掃除は高齢の男性たち、キッチン部門は料理上手で経験豊かな女性たちが仕込みから頑張っています。開店して半年を過ぎ、課題として売上目標の達成や商品の充実、計画的な農産物の生産、商品提供者の拡大などがありますが、今からです。会員と力を合わせて、住民の皆さんが楽しく、元気になれるような場所としてそらまめ直売所を育てていきたいと思います。

### 安心・安全な食材を使ったおいしい昼食を提供。

（一社）ほんによかね会 キッチン部会 三原 圭子

地域食堂は昼食を提供する会員制の食堂です。運営は住民や「出会いの場ポレポレ」利用者の保護者、法人職員が8グループに分かれて、献立の決定や食材の買出し、調理、片付けをします。

安武町の地域食堂としては、2009年からの法人のケアホーム「三原さん家」が始まり。母屋の一部を開放し、週2回1食300円で近所の高齢者に昼食を提供していました。そんな中、「65歳以上の高齢者が半数以上を占める限界集落になるか、コミュニティづくりをして若い世代を



呼び込み繁栄できるかは住民の力にかかっている」との話を聞いたのです。多くの住民が協力しながら自分たちの力で元気な町にしていけたら素晴らしいと思いましたので、そらまめ直売所の地域食堂に移行し、専念しています。地元産の安心・安全な食材にこだわって栄養のバランスを考えた食事を提供し、子どもも高齢者もみんなが気軽に集えるような地域食堂にしていきたいと思っています。

JAくるめ安武農産物直売所  
「そらまめ」

安武町特産のそら豆を愛称に持つ。JAくるめが運営していたが、担い手不足などで閉鎖していた。住民で構成する（一社）ほんによかね会が参画し再オープン。※会費 1口1,000円（年会費）

提 言

# 重い知的障がいがあっても、一人暮らしをしています。福祉の専門家だけではなく、地域の支え合いの中で。

重度の知的障がいがあったら一人暮らしは無理だと思いませんか？  
保護者や支援者の皆さんがそう思ってしまいませんか？  
自宅か施設で暮らすしかないのでしょうか？  
「もうひとつ」の暮らしの場があるはず。  
4人の重い障がいの方がグループホーム（GH）の暮らしから、アパートでの一人暮らしに移っています。

## 生まれ育った町で暮らし続けたい

GH「御井あんだんて」の近所で、4人は一人暮らしをしています。そのGHに住んでいた時、「やれるやろ」と決意した上田智也さん（26歳）を皮切りに始まったチャレンジです。その思いは、生まれ育った御井町で働き、暮らし続けたい。彼らの原点は、重い障がいがあっても地域の保育園、小学校、中学校へ通ったことにあります。

4人は、小学校高学年の時から月に1回、当法人のショートステイ事業を使っての「体験宿泊」、高校3年の時は当法人のレスパイトハウス事業を使って、長期計画のよとの宿泊体験にチャレンジしました。

2010年4月、「御井あんだんて」開所の際、特別支援学校高等部を卒業した4人は18歳で親元から離れて入居。同時に就労訓練、就職をし、サテライト型住居への入居を経て、ついに一人暮らしに踏み出したのです。保護者も支援者も、もちろん本人も精一杯、駆け抜けた年月だったように思います。

## 支援や保護ではなく、自立を。

「GHとアパート、どちらがいい？」と聞くと、「アパートがいい」の返事にほっとします。幼い時からチャレンジを繰り返してきた彼らです。周りの心配をよそに行きつ戻りつしながらも、暮らしの様々な点を自分で決定することで自信をつけ、希望をもって自分らしく当たり前暮らしをおられます。

そして、支援、保護されている側だと思っていた彼らが、障がい児とその家族にとって、「うちの子も将来は彼らのように一般就労して収入を得て、一人暮らしをして自立できる」という希望になっているのです。その姿を見るにつけ、重い知的障がいならば一人暮らしは無理と、これまでの常識にとらわれているのは、傍にいる家族や支援者なのだ気づかされました。障がい者も高齢者も若者も、誰でもいろんな暮らし方があるはず。今後も常識にとらわれずに一緒にチャレンジしながら、利用者さんの生活の選択肢を増やしていきたいと思ひます。

※1… 3名はサテライト型住居・1名は一人暮らし  
※2… GHの近くのアパートを借り、一人暮らしに近い生活の支援をする



「自立」を考えてみませんか？ 私たちと一緒に、

アパートの1室（1ルーム）を借り、できることは自分で行き、徒歩通勤かバス通勤で職場へ。自分で朝食を用意する人、GHにて食べる人、とそれぞれです。

### ……保護者の声です……

私が入院した時も、生活のリズムを作っていたいただいたお陰で本人は仕事も頑張っていました。皆さんに助けられて楽しく生活しています。（上田さん）

一人暮らしの練習を始め不安で泊れない日が続きましたが、皆さんの支えで安心したのか変化が、諦めず支えていただき、感謝の気持ち一杯です。（西村さん）

不安や心配でたまらない事もありますが、息子の姿に元気をもらっています。これからも息子の応援団であり続けたい。（豊福さん）

一人暮らしも3年目。初めの頃の不安はどこへやら、気力、体力続く限りに冒険し、大きくなりました。可能性を拓いてくださって有難うございます。（友成さん）



**GH「御井あんだんて」**  
入居者5名・一人暮らし4名。地域の皆さんが集まる場となっており、年間延べ600人以上が足を運ぶ。独自の催しとして、そうめん流しやお月見会などを実施し、地域の行事にも出店している。





## 「もうひとつ」の取組みがスタート

重い障がいのある人、高齢者の暮らしの場は「家」か「施設（グループホーム）」の2択しかないのが現状です。もうひとつ…、もうひとつ何かあれば、豊かな暮らしの選択肢は広がるはずで。

そこで、新たな「もうひとつ」の取組みが右のようにスタートしました。今後も、制度の活用だけではなく、インフォーマルな取組みとの連携も含めて、これまでにない「もうひとつ」の暮らしの選択肢を生み出せるようにチャレンジしていきたいと思います。

**1** 当法人のグループホーム5ヶ所の中の1つ、「御井あんだんて」の近くに、一人暮らしに近い形態のサービスを提供する「サテライト型住居」を2ヶ所新設。これで障がいのある利用者さん4人がグループホームから一人暮らしに移行しています。(5頁参照)

**2** 2017年度に受託した厚生労働省のモデル事業では、「もうひとつの家プロジェクト」として、ボレボレ倶楽部(当法人後援会)と共に、ボランティアで障がいのある人のための土日の里親を試みています。(2~3頁参照)

### 資金収支内訳表

(単位:円)

勘定科目		決算
事業活動による収支	収入	
	障害福祉サービス等事業収入	340,641,974
	その他の事業収入	23,550,632
	経常経費寄附金収入	15,000
	受取利息配当金収入	19,000
	その他の収入(職員からの給食代金等)	3,590,937
	事業活動収入計①	367,817,543
	支出	
	人件費支出	230,023,324
	事業費支出	31,527,217
事務費支出	41,279,614	
支払利息支出	0	
事業活動支出計②	302,830,155	
就労		
就労支援(A型・B型)事業収入	60,902,431	
就労支援(A型・B型)事業費用	61,587,513	
就労支援事業増減差額③	-685,082	
事業活動資金収支差額④=①-②+③	64,302,306	
施設整備収支	収入	
	施設整備等補助金収入	0
	固定資産売却収入	0
	施設整備等収入計⑤	0
	支出	
	設備資金借入金元金償還支出	0
固定資産取得支出	6,891,346	
施設整備等支出計⑥	6,891,346	
施設整備等資金収支差額⑦=⑤-⑥	-6,891,346	
他活動収支	収入	
	事業区分間繰入金収入	0
	サービス区分間繰入金収入	0
	その他の活動による収入計⑧	0
	支出	
	積立資産支出	193,050,000
	事業区分間繰入金支出	0
	サービス区分間繰入金支出	0
その他の活動支出計⑨	193,050,000	
その他の活動資金収支差額⑩=⑧-⑨	-193,050,000	
当期資金収支差額合計⑪=④+⑦+⑩	-135,639,040	
前期末支払資金残高⑫	243,981,984	
当期末支払資金残高⑬=⑪+⑫	108,342,944	

### 事業活動内訳表

(単位:円)

勘定科目		決算
サービス活動増減の部	収益	
	障害福祉サービス等事業収益	340,641,974
	その他の事業収入	23,550,632
	経常経費寄附金収益	15,000
	サービス活動収益計①	364,207,606
	費用	
	人件費	237,297,215
	事業費	31,527,217
	事務費	41,279,614
	減価償却費	40,168,174
国庫補助金等特別積立取崩額	-5,391,427	
サービス活動費用計②	344,880,793	
就労		
就労支援(A型・B型)事業収益	60,902,431	
就労支援(A型・B型)事業費用	64,135,897	
就労支援事業増減差額③	-3,233,466	
サービス活動増減差額④=①-②+③	16,093,347	
サービス活動外増減の部	収益	
	受取利息配当金収益	19,000
	雑収益(職員からの給食代金)	3,590,937
	サービス活動外収益計⑤	3,609,937
	費用	
	支払利息	0
サービス活動外費用計⑥	0	
サービス活動外増減差額⑦=⑤-⑥	3,609,937	
経常増減差額⑧=④+⑦	19,703,284	
特別増減の部	収益	
	固定資産売却益	0
	事業区分間繰入金収益	0
	サービス区分間繰入金収益	0
	特別収益計⑨	0
	費用	
	固定資産売却損・処分損	7
	事業区分間繰入金費用	0
	サービス区分間繰入金費用	0
	特別費用計⑩	7
特別増減差額⑪=⑨-⑩	-7	
繰越活動増減差額の部	当期活動増減差額⑫=⑧+⑪	19,703,277
	前期繰越活動増減差額⑬	524,304,418
	当期末繰越活動増減差額⑭=⑫+⑬	544,007,695
	基本金取崩額⑮	0
	その他の積立金取崩額⑯	0
	その他の積立金積立額⑰	193,050,000
	次期繰越活動増減差額⑱=⑭+⑮+⑯-⑰	350,957,695

# 第17回 ポレポレ祭り

～つながって、コラボして、何かが生まれる!～



## 11月4日(日)

9:45~15:00

会場 **出会いの場ポレポレ**

ポレポレ祭りは、2002年秋より回を重ね、今回で17回目を迎えます。

「多くの人たちとのつながりたい」という思いで始めた祭りは、来場者が3,000名を超えるお祭りになりました。初回から「毎年楽しみにしています」と言って来場され

る方、500人にとぼるボランティアの方、そして、安武地域の皆様による準備や会場設営、片付けなどのご協力をいただいた開催となり、地域の皆様の心に根ざした祭りに育ってきたと感じています。

今回も、異なる世代や文化をもつ実

行委員たちがつながり、チームでコラボして企画を練り上げ、一緒にアクションを起こしていきます。そこで化学反応が生じて、「新しい風」を巻き起こすようなワクワクするようなものが生まれ、来場者の方々にも明日への希望と活力を与えたい。そのような願いを胸に、祭りを創り上げていきたいと思ひます。皆様のご協力をお願いいたします。

### ～ご協力のお願ひ～

#### 広告・協賛のお願ひ

パンフレット・チラシに掲載させていただきます。

#### ガレージセールのお願ひ

ご家庭にある未使用品(雑貨・食品など)をご提供ください。

#### ボランティア参加のお願ひ

準備・当日のお手伝いなど

## ケニアフェア

### ケニア共和国の料理や展示で文化交流

2020年東京オリンピック・パラリンピック久留米市がケニアの事前キャンプ地に決定  
みんなで盛り上げましょう。